

甲賀市の環境概要

令和6年度版



環境未来都市2050
KOKA CITY

甲賀市 市民環境部
生活環境課・環境未来都市推進室

目 次

I. 廃棄物対策の現況	1
1. 可燃ごみ	1
2. 資源ごみ・不燃ごみ	1
3. ごみ処理収支状況	2
4. 資源の再利用	3
II. 河川の水質の現況	5
1. 野洲川水系	10
2. 杣川水系	11
3. 大戸川・信楽川水系	12
III. 自動車騒音の現況	14
IV. 地球温暖化対策	15
V. 市民・事業者との協働	17
1. 県下一斉清掃	17
2. まち美化活動	18
3. 環境保全協定の締結	19
VI. 自然環境	20
1. レッドリスト	21
2. 自然公園等	22
VII. その他	23
1. 情報提供	23
2. 普及啓発	24

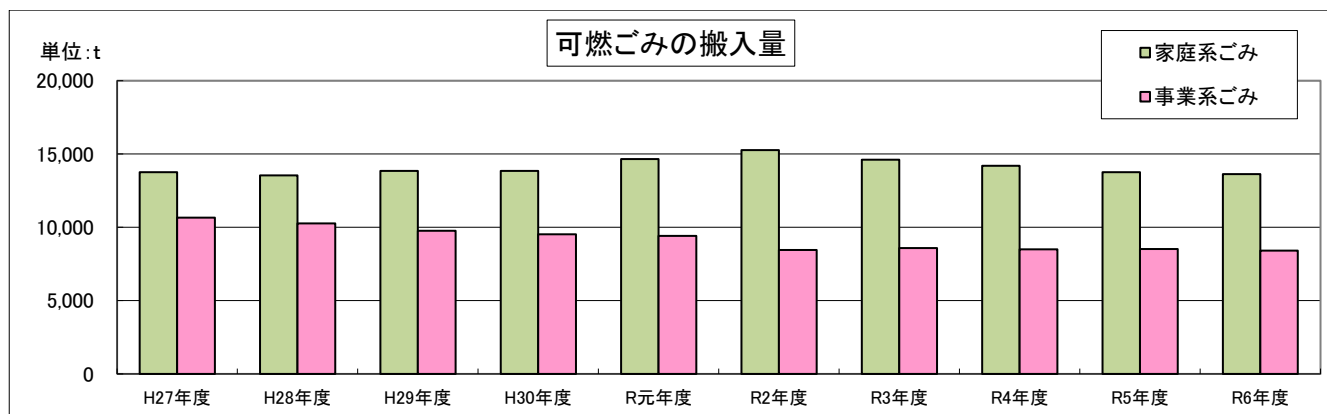
I. 廃棄物対策の現況

1. 可燃ごみ

甲賀市の可燃ごみは、甲賀広域行政組合衛生センターで処理しており、搬入量は下記のとおり推移しています。可燃ごみは、家庭から出される「家庭系ごみ」と、会社や店舗から出される「事業系ごみ」に区別できます。家庭系ごみと事業系ごみの割合は、おおむね6対4となっています。

【可燃ごみ搬入量の推移】（資料：甲賀広域行政組合衛生センター 単位：t 下段は対前年比（%））

		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
家庭系ごみ	年間量	13,750	13,543	13,848	13,850	14,646	15,269	14,620	14,204	13,762	13,620
	前年比	△0.2%	△1.5%	+2.3%	0%	+5.7%	+4.3%	△4.4%	△2.8%	△3.1%	△1.0%
事業系ごみ	年間量	10,659	10,260	9,774	9,520	9,405	8,458	8,576	8,500	8,511	8,405
	前年比	+4.3%	△3.7%	△4.7%	△2.6%	△1.2%	△10.1%	+1.4%	△0.9%	+0.1%	△1.2%
合 計	年間量	24,409	23,803	23,622	23,370	24,051	23,727	23,196	22,704	22,273	22,025
	前年比	+1.7%	△2.5%	△0.8%	△1.1%	+2.9%	△1.3%	△2.3%	△2.1%	△1.9%	△1.1%

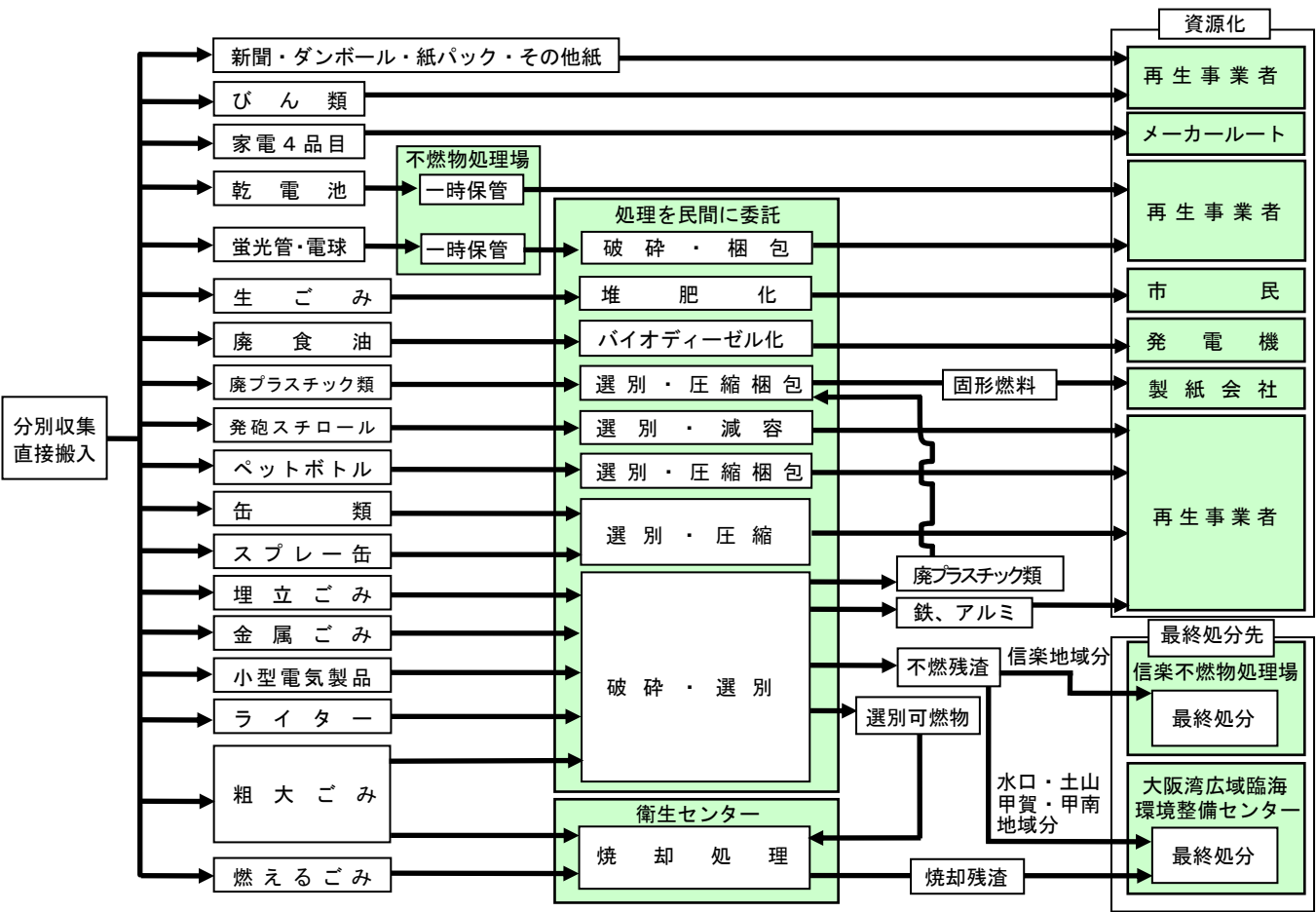


2. 資源ごみ・不燃ごみ

家庭系の資源ごみ、不燃ごみ等の収集量は下表のとおりです。

【家庭系資源ごみ・不燃ごみ収集量内訳】 （単位：t）	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
紙類計	1,502	1,390	1,279	1,243	1,195	1,198	1,176	1,066	984	924
新聞	681	624	545	514	450	397	400	355	305	273
雑誌	421	376	342	333	345	363	337	304	288	280
段ボール	388	378	380	385	389	426	427	396	373	360
紙パック	12	12	11	11	11	12	12	11	18	11
ビン	552	557	530	503	475	480	467	442	421	403
空き缶	152	149	146	144	143	156	147	138	131	121
スプレー缶	25	24	25	25	28	29	29	26	27	26
ペットボトル	154	157	160	169	173	180	186	189	193	202
発泡スチロール	22	22	21	21	21	23	23	21	21	20
廃プラスチック類	697	672	683	681	715	771	763	735	710	676
廃食用油（比重0.85）	25	26	26	27	27	30	29	25	24	25
生ごみ（種堆肥含む）	1,635	1,564	1,359	1,305	1,395	1,215	1,257	1,197	1,100	931
不燃ごみ	674	627	648	668	733	831	679	593	570	554
不燃粗大ごみ	387	389	453	483	549	685	664	478	489	402
蛍光灯・電球・乾電池	19	17	17	31	16	16	16	15	17	14

【リサイクルフロー図】

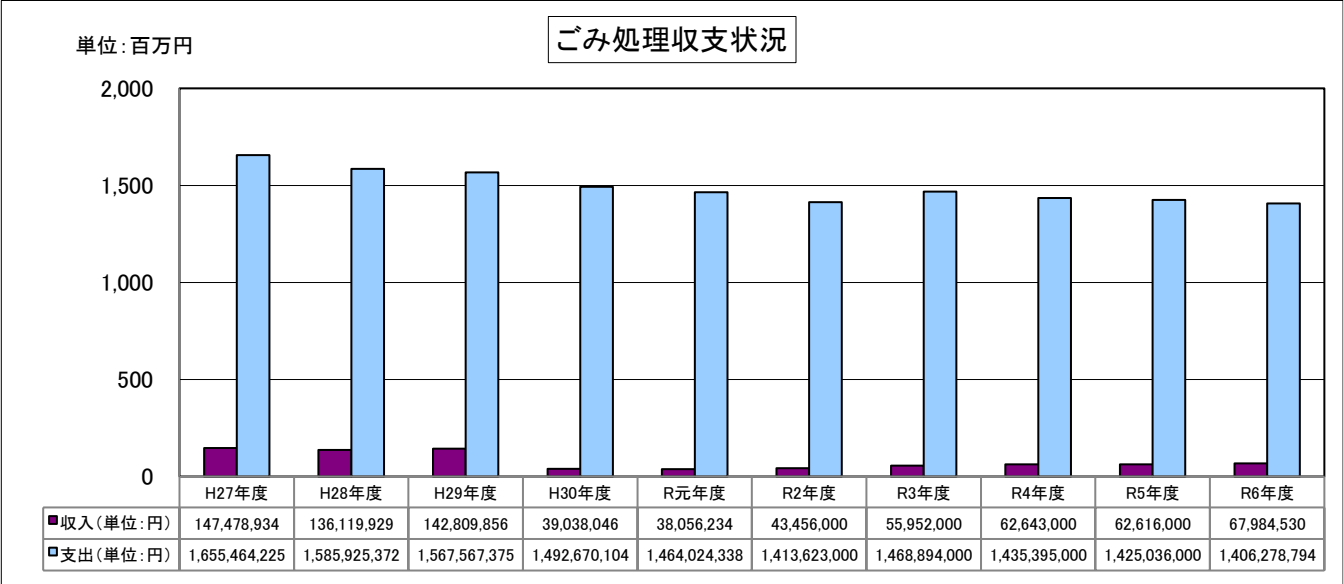


3. ごみ処理収支状況

ごみ処理経費の収入と支出の状況は、下表のとおりとなっています。

収入は主に手数料や資源ごみの売却によるものであり、支出は主に家庭ごみの収集や処理、不法投棄の監視に係る費用となっています。

【ごみ処理収支状況】



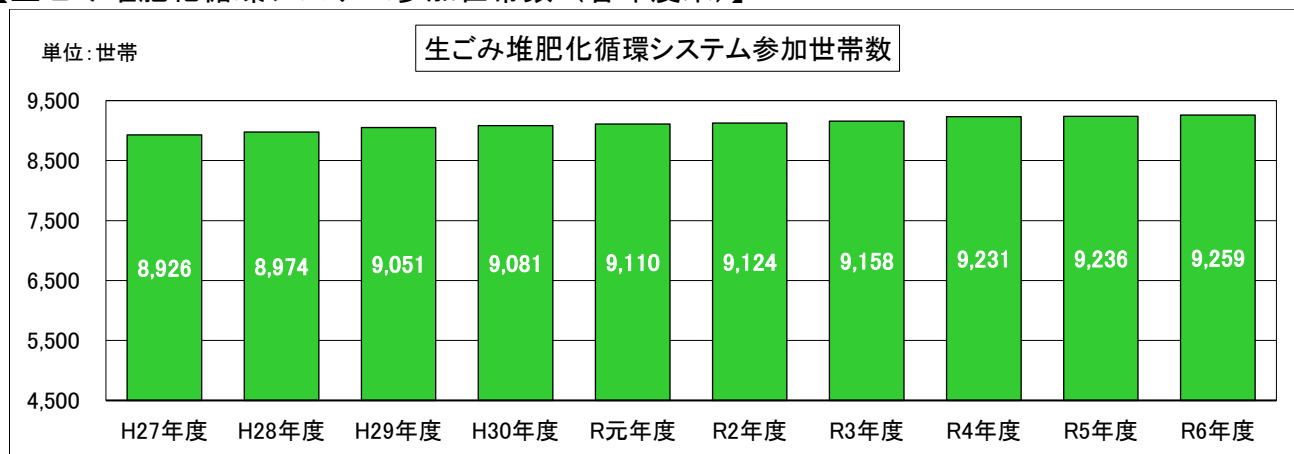
4. 資源の再利用

①生ごみ堆肥化循環システム

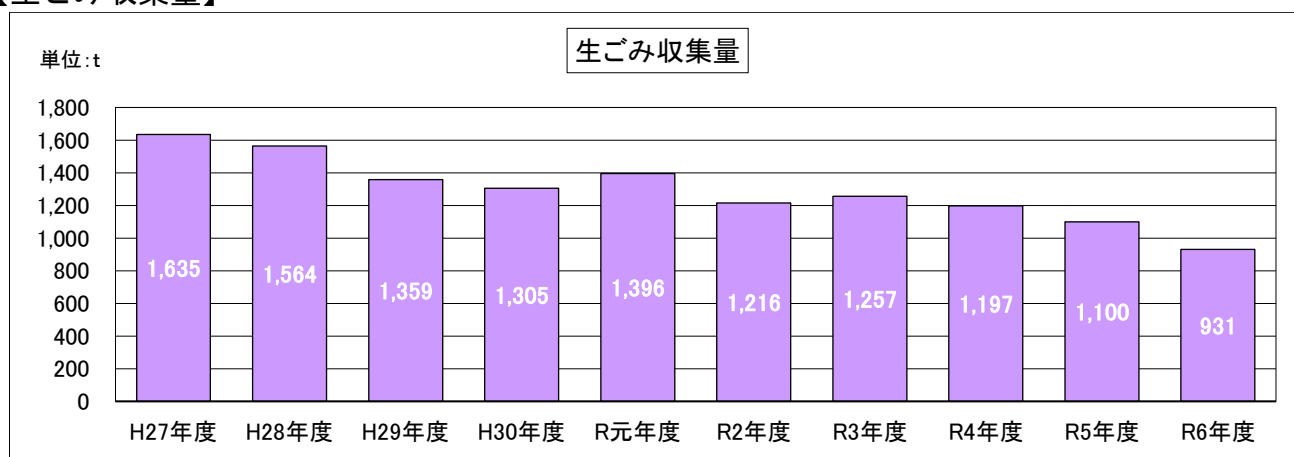
甲賀市では、生ごみ堆肥化循環システムに取り組んでいます。

令和7年3月末の参加世帯数は9,259世帯、令和6年度の収集量は、931トンとなっています。

【生ごみ堆肥化循環システム参加世帯数（各年度末）】



【生ごみ収集量】



②フードドライブ

甲賀市では、食品ロス削減の取り組みの1つとして、家庭で余っている食品を集め、必要とされている団体等にお渡しする活動であるフードドライブを実施しています。

令和6年度は、甲賀市社会福祉協議会と連携し、子ども食堂等を支援している「eこころステーション」を通じてフードバンク・フードドライブを行いました。また、市役所職員向けのフードドライブを3回実施したほか、甲賀市シルバー人材センターにもご協力いただきました。あわせて、企業・団体等の参画促進のためにも情報発信を行っています。



③廃食油リサイクル（BDF化）

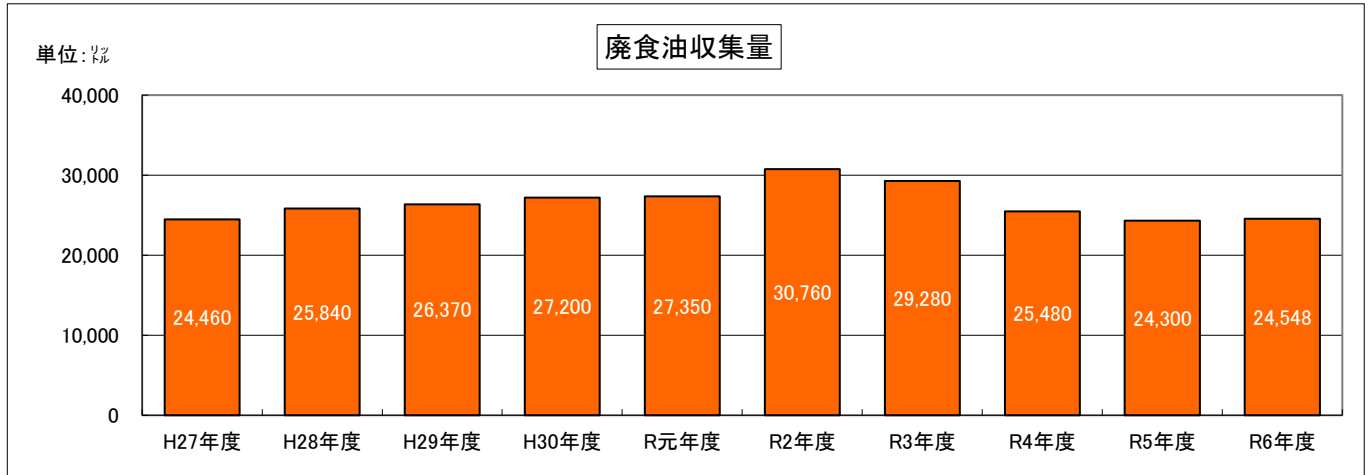
<BDF=バイオディーゼルフューエル(Bio Diesel Fuel)>

甲賀市では、家庭で使用した後の廃食油を資源ごみとして収集し、BDFとして再資源化を行っています。令和6年度は24,548ℓを収集しBDFを精製しています。

精製したBDFは、主にごみ処理施設内の車両や粉砕機の燃料として利用されています。

廃食油BDF 化石燃料の代替燃料として、植物性の油を原料にしたディーゼルエンジン用燃料

【廃食油収集量】



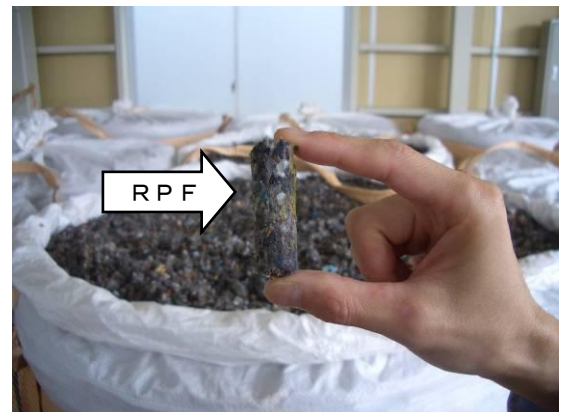
④廃プラスチックリサイクル（固形燃料RPF化）

<RPF=リフューズペーパーアンドプラスチックフューエル(Refuse Paper & Plastic Fuel)>

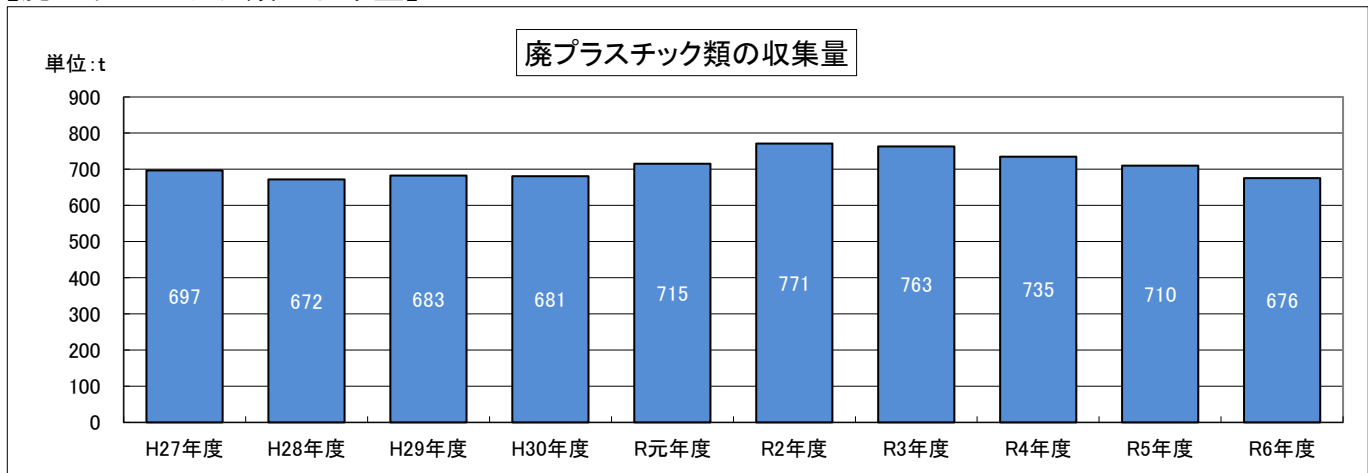
甲賀市では廃プラスチックの分別収集をしています。

令和6年度には約676トンの廃プラスチック類を収集しました。家庭で分別された廃プラスチック類は中間処理業者により固形燃料RPFに再生され、化石燃料に替わる燃料として製紙会社で利用されています。

固形燃料RPF 化石燃料の代替燃料として、廃プラスチックと紙を混ぜた固形燃料



【廃プラスチック類の収集量】



II. 河川の水質の現況

市内を流れる河川について、水質調査を行っています。野洲川、大戸川、信楽川については、「生活環境の保全に関する環境基準」のA類型に指定されています。

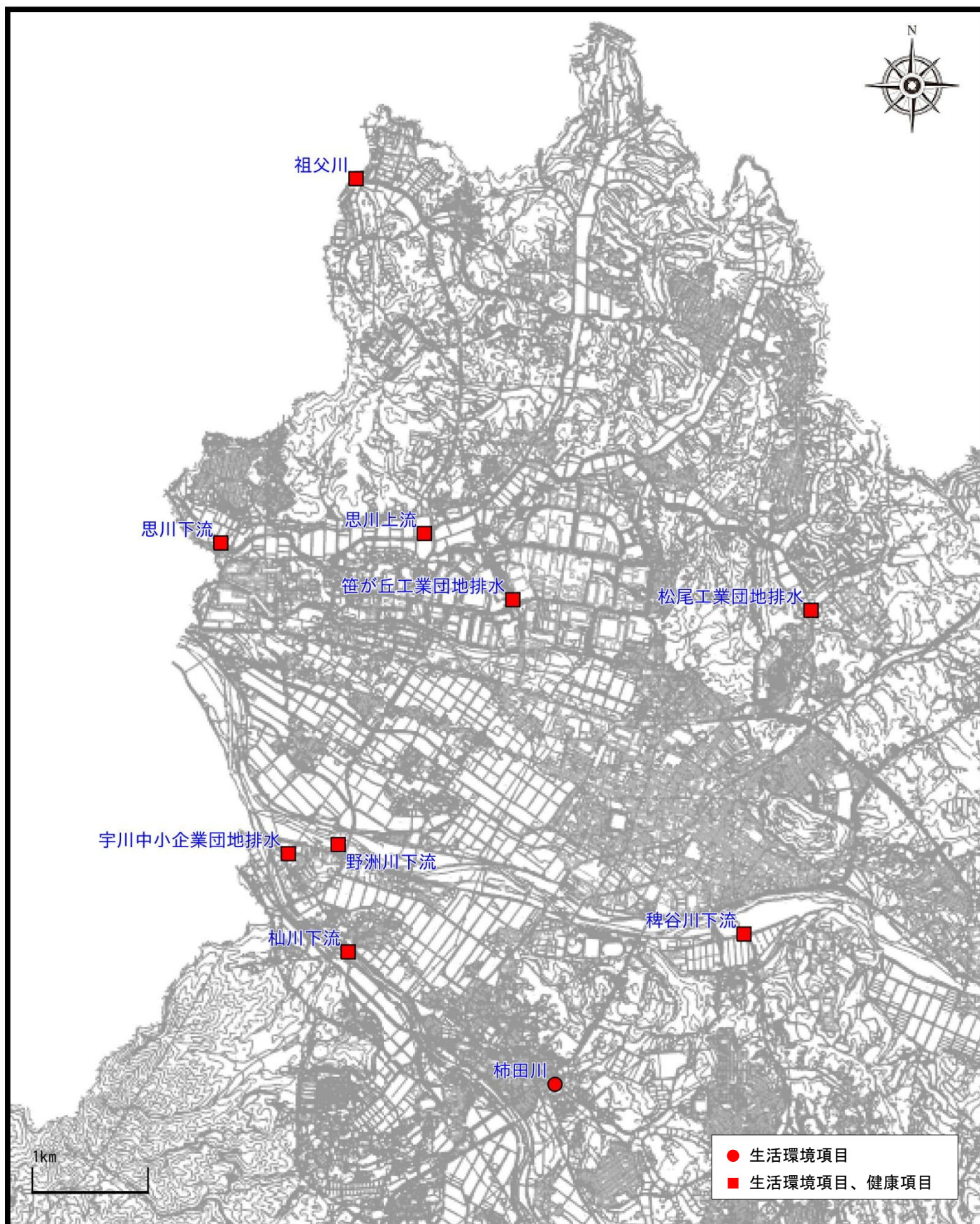
複数年に分け、市内約50か所で調査を実施しています。(令和6年度は実施していません。)

<p>A 類型の基準値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水素イオン濃度 (pH) 6.5 以上 8.5 以下 ・ 生物化学的酸素要求量 (BOD) 2mg/l 以下 ・ 浮遊物質 (SS) 25mg/l 以下 ・ 溶存酸素量 (DO) 7.5mg/l 以上 ・ 大腸菌数 300CFU/100ml 以下 	<p>環境基準</p> <p>維持されることが望ましい基準であり、人の健康を維持するための最低限度としてではなく、より積極的に維持されることが望ましい目標としているもの</p>
--	---

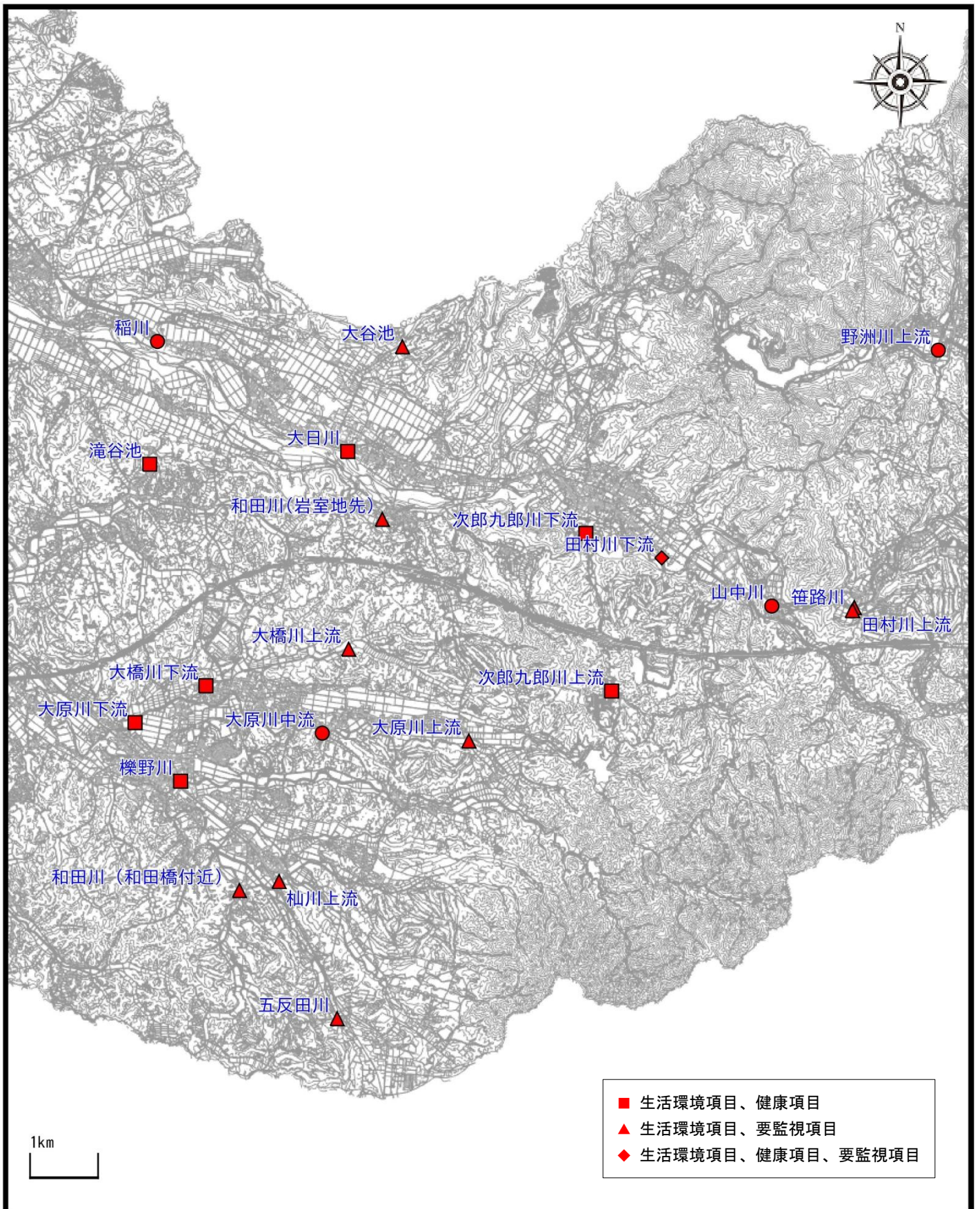
【調査項目概要】

調査項目	調査項目の概要説明
<p>pH 【水素イオン濃度指数】</p>	<p>酸性、アルカリ性の程度を0～14の値で示す指数で、中性は7、7を超えるものはアルカリ性、7未満のものは酸性であることを示します。</p> <p>pHは水中で生じるあらゆる化学的、生物的变化の制限因子となります。人為的な汚染のない場合、河川のpHは主に地質的要因や酸性雨で変化します。また、夏期において水深が浅く水が停滞するような場所では、河床の付着藻類の光合成により水中の炭酸成分が消費され、高い値を示すことがあります。</p>
<p>DO 【溶存酸素量】</p>	<p>酸素は20℃の水1リットルあたり8.84mg 溶けます。汚れた水では、微生物が汚濁物を分解するとき酸素を消費するため低い値を示します。夏期は藻類の光合成により酸素が生成され高い値を示すことがあります。</p>
<p>BOD 【生物化学的酸素要求量 (消費量)】</p>	<p>水中の微生物が20℃で5日間に有機物を酸化分解する際に利用する酸素量で表しています。値が高いほど水が汚れていることを示し、河川の汚濁指標として用いられています。一般的には生活排水や産業排水の影響を受けて値が高くなります。</p>
<p>COD 【化学的酸素要求量 (消費量)】</p>	<p>水中の有機物を化学的に酸化分解した際に消費された酸化剤の量を酸素量で表しています。値が高いほど水が有機物で汚れていることを示します。BODと同様に生活排水や産業排水の影響を受けて値が高くなります。</p>
<p>SS 【浮遊物質 (懸濁物質)】</p>	<p>2mm 以下、1μm 以上の小さな不溶性物質の量を示します。不溶性物質の中には土砂等の無機性のもの、残飯・藻等の有機性のものがあります。降雨等により値が高くなる場合があります。</p>
<p>大腸菌数</p>	<p>100ml 中に存在する大腸菌数を示します。数値が高いほど、人間・動物の排泄物で汚されている可能性が大きいことを示しています。</p> <p>※令和3年度以前は大腸菌群数、令和4年度以降は大腸菌数を測定しています。</p>
<p>T-N 【全窒素】</p>	<p>水中ではたんぱく質や核酸のような有機態やアンモニウムイオンや硝酸イオンなどの無機態として存在します。微生物の繁殖のための栄養となり、数値が高いほど、汚れているかあるいは汚濁が進行しやすいことを表します。生活排水や産業排水の他に肥料などの影響を受けて値が高くなる場合があります。</p>
<p>T-P 【全りん】</p>	<p>窒素とともに微生物の繁殖のための重要な栄養源となります。人間・動物の排泄物、家庭排水中に多量に含まれ、窒素と併せて汚濁の進行の程度を知る指標となります。一般的には産業排水の他に肥料や洗剤などの影響を受けて値が高くなります。</p>

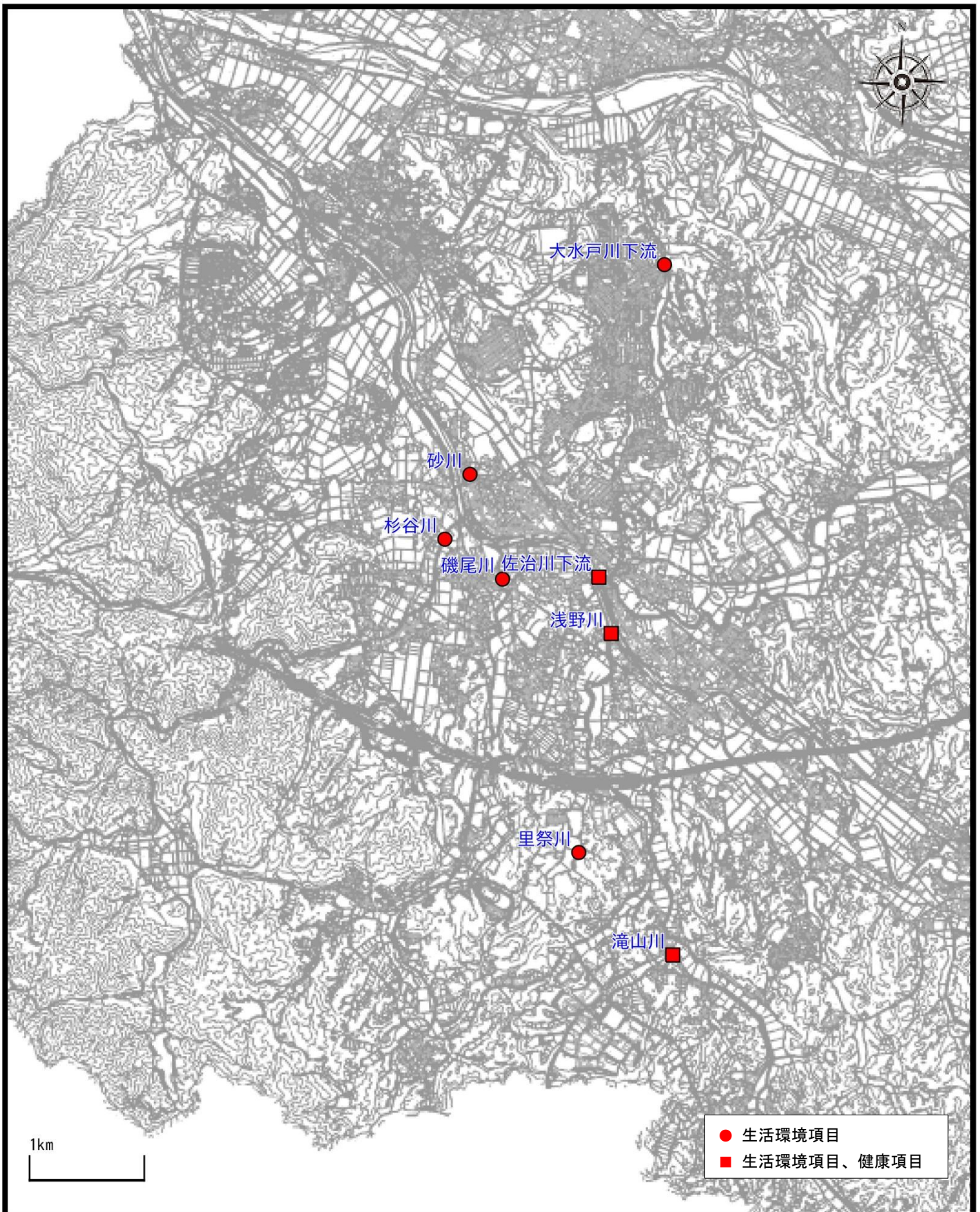
水口町



土山町・甲賀町

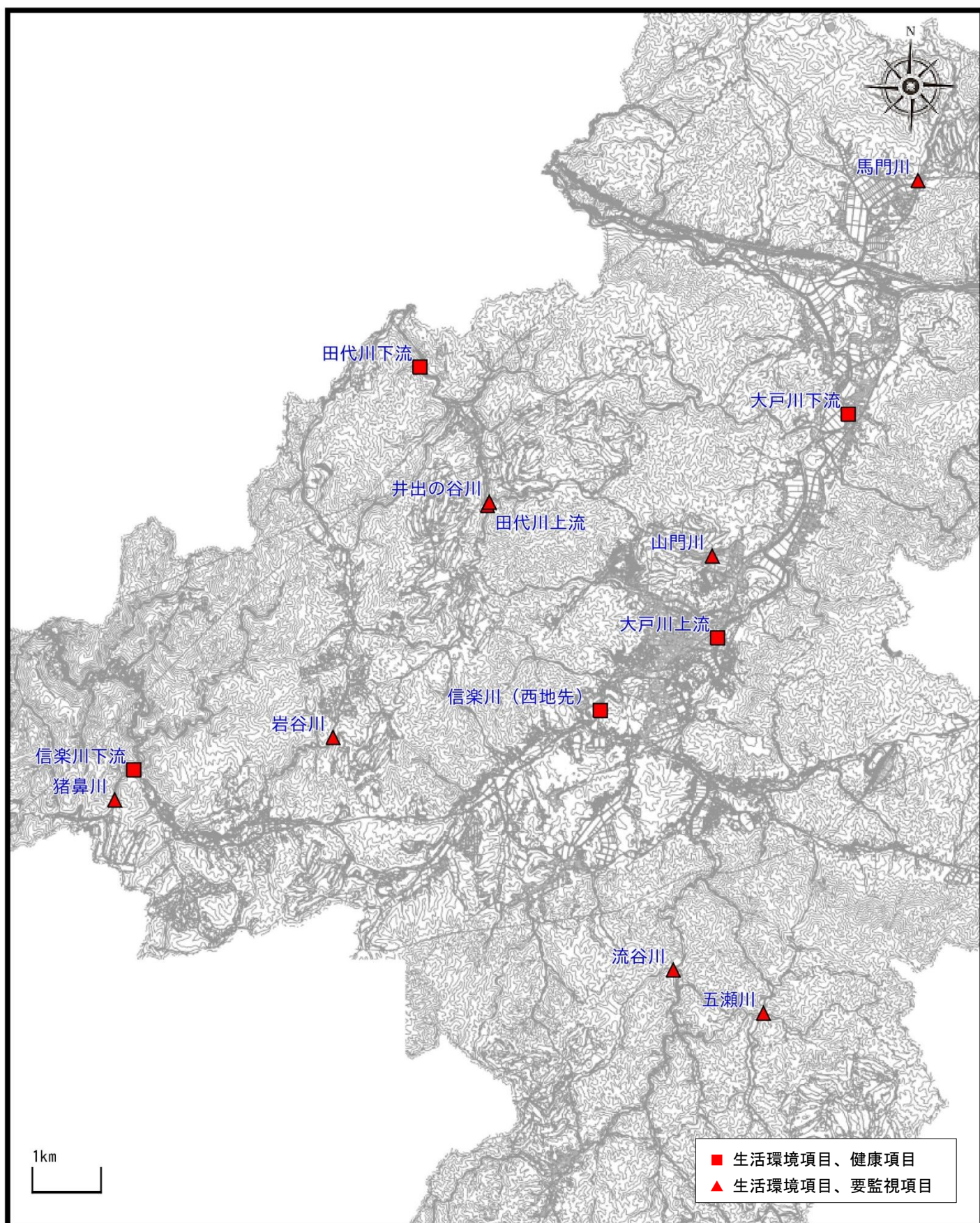


甲南町



1 / 45,000

信楽町



1 / 75,000

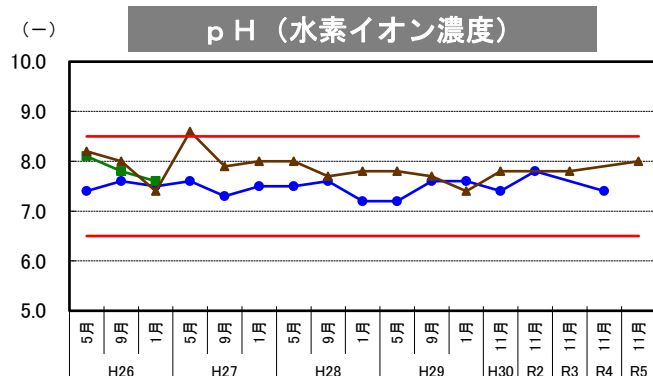
1. 野洲川水系

各項目の野洲川上流、野洲川中流、野洲川下流地点の経年変化を下記に示しています。

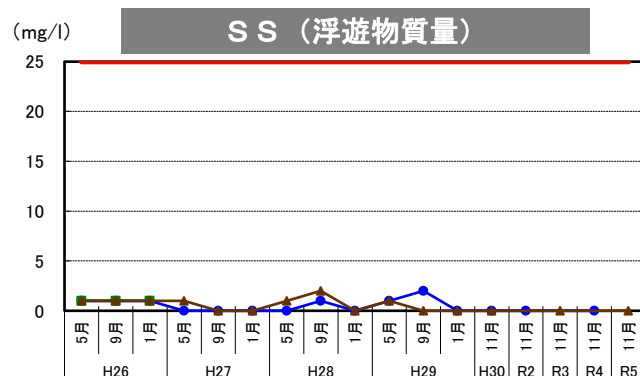
pHは、過年度の結果を見ると春期または夏期に代掻きや藻類の光合成により値が上昇する傾向がありますが、近年は環境基準A類型を満足する値です。令和4年度から、大腸菌群数は大腸菌数に変更となったため、経年比較を行うことはできませんが、現在の大腸菌数については、環境基準A類型を満足する値です。DOは、各地点とも、環境基準A類型を満足する値で推移しています。

【野洲川水系経年変化】 ※A類型参考

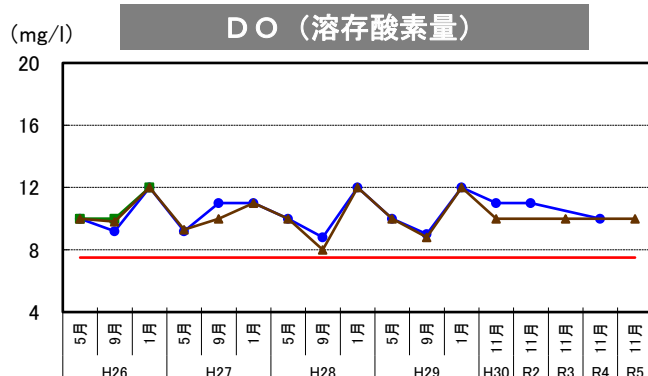
● 野洲川上流 ■ 野洲川中流 ▲ 野洲川下流 — 環境基準A類型



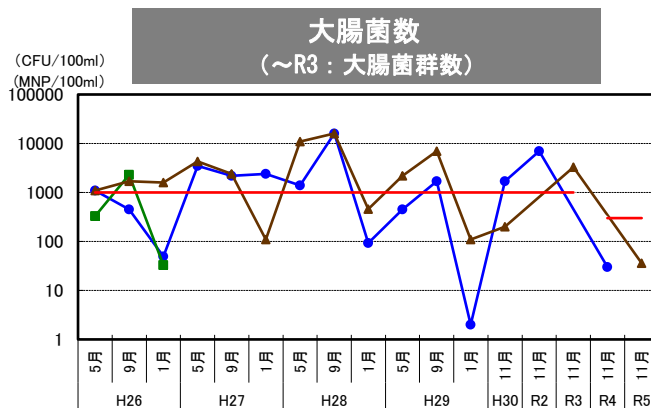
※A 類型基準は 6.5 以上 8.5 以下



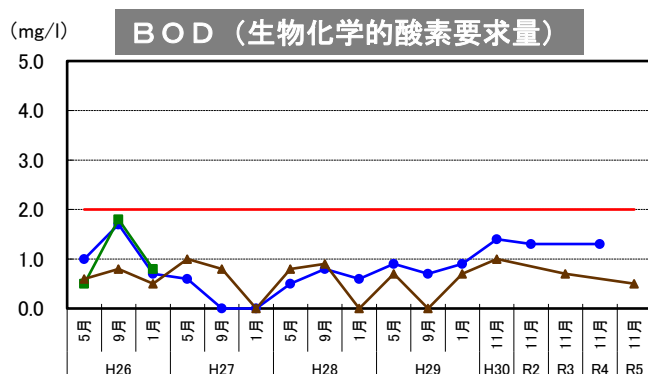
※A 類型基準は 25mg/l 以下



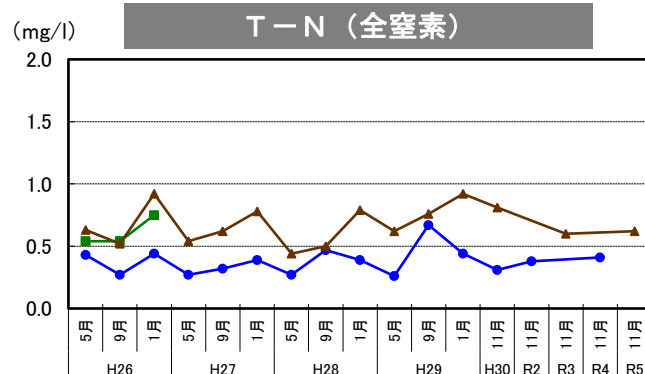
※A 類型基準は 7.5mg/l 以上

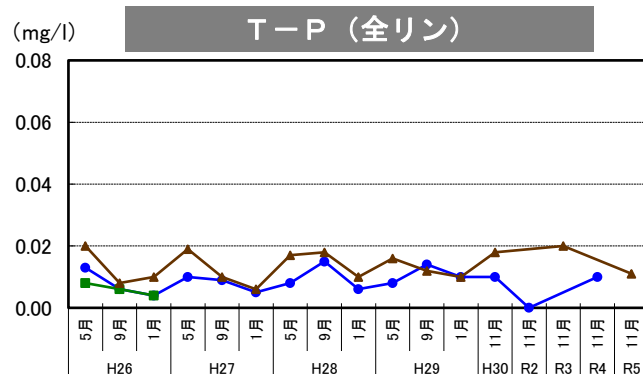
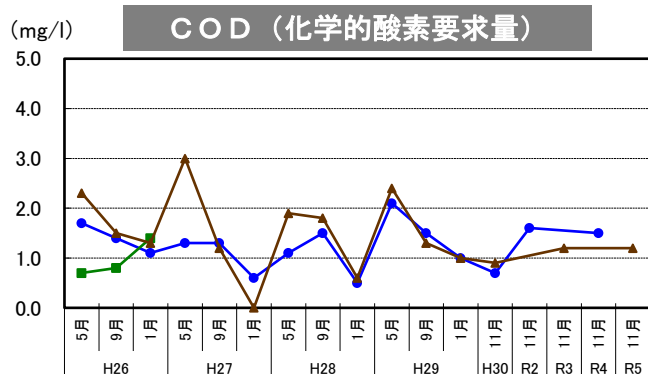


※大腸菌数: A 類型基準は 300CFU/100ml 以下
大腸菌群数: A 類型基準は 1,000MPN/100ml 以下



※A 類型基準は 2mg/l 以下





2. 杣川水系

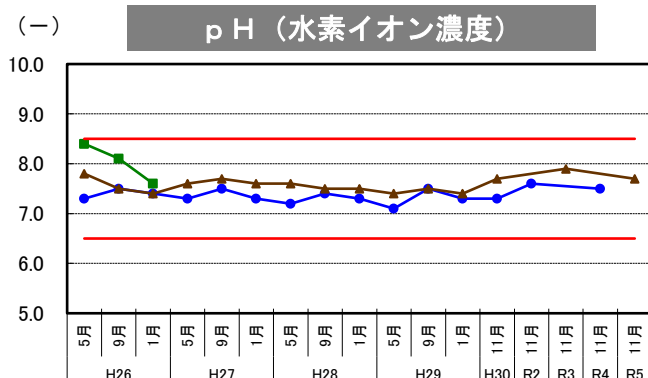
各項目の杣川上流、杣川中流、杣川下流地点の経年変化を下記に示しています。

COD、SS、T-Pについては、過年度の結果を見ると5月調査で値が上昇する傾向がみられ、代掻きによる濁水の流入の影響と考えられますが、環境基準A類型を満足する値です。

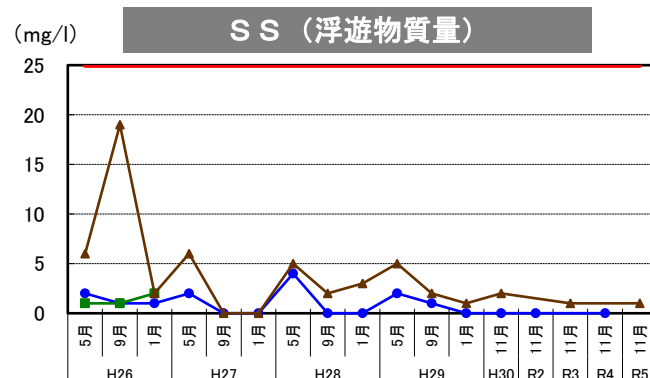
大腸菌群数は例年各地点ともに夏期に値が最も高くなり環境基準を超過し、その後減少する傾向があります。夏期は水温が高いため、大腸菌群が増殖しやすい環境下にあるためと考えられます。令和4年度から、大腸菌数に変更となったため、経年比較を行うことはできませんが、大腸菌数については、環境基準A類型を満足する値です。

全体的に過年度の変動の範囲内で推移しています。

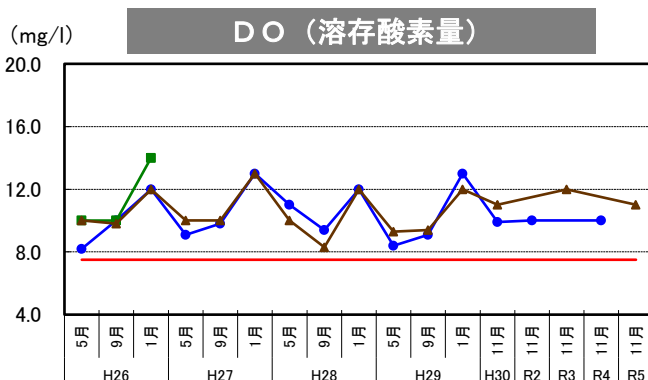
【杣川水系経年変化】 ※A類型参考



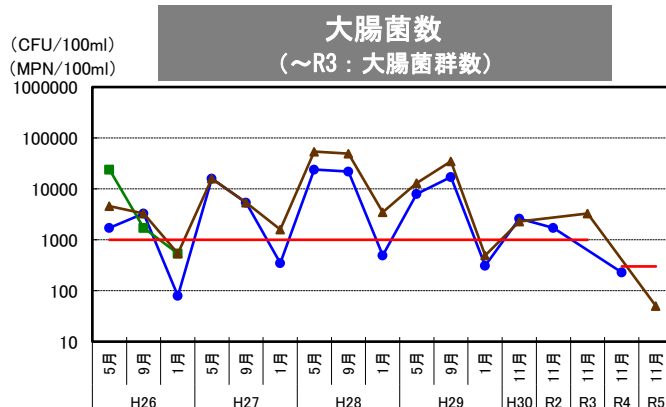
※A 類型基準は 6.5 以上 8.5 以下



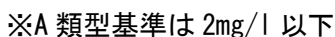
※A 類型基準は 25mg/l 以下

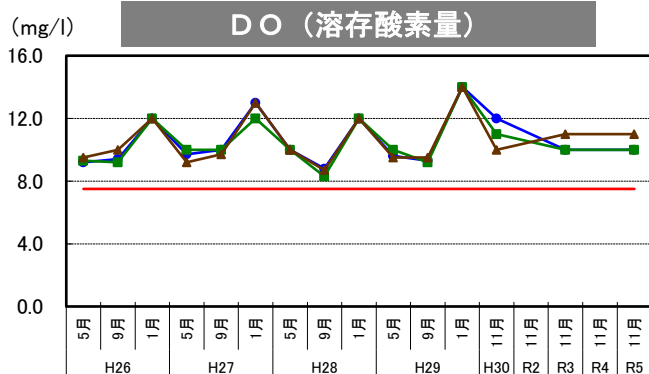


※A 類型基準は 7.5mg/l 以上

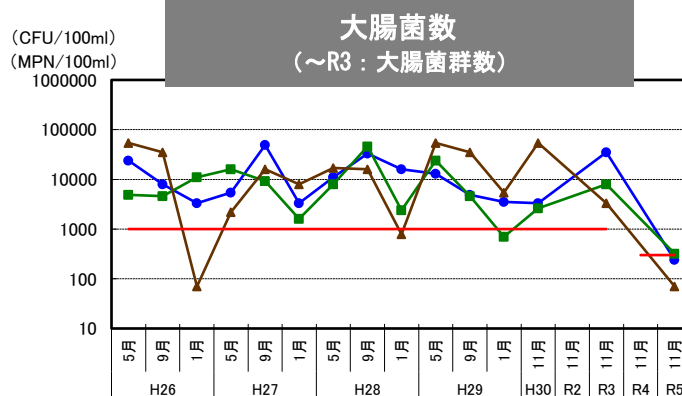


※大腸菌数: A 類型基準は 300CFU/100ml 以下
大腸菌群数: A 類型基準は 1,000MPN/100ml 以下

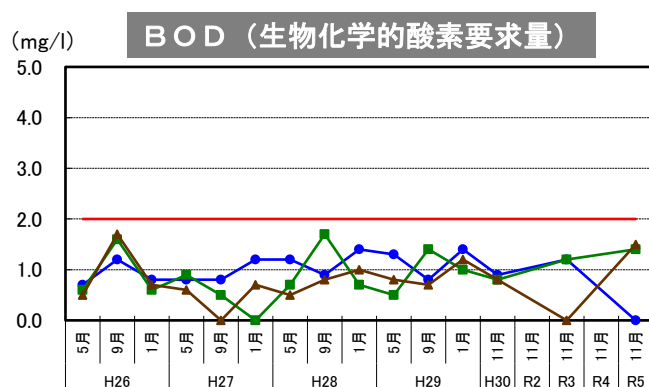




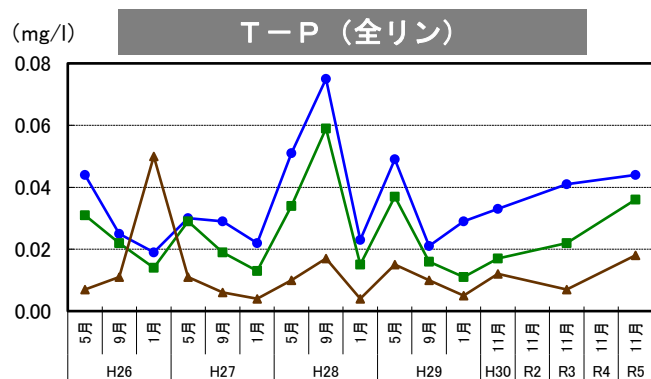
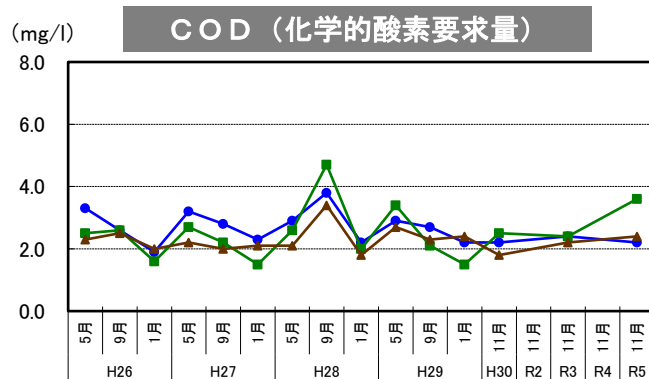
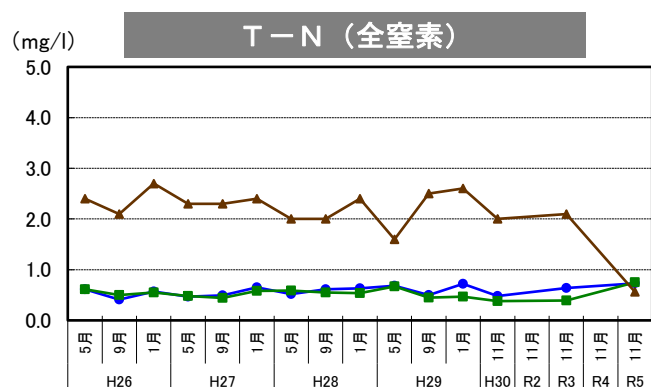
※A 類型基準は 7.5mg/l 以上



※大腸菌数：A 類型基準は 300CFU/100ml 以下
大腸菌群数：A 類型基準は 1,000MPN/100ml 以下



※A 類型基準は 2mg/l 以下



III. 自動車騒音の現況

市内主要道路対象 7 区間・総延長 4.2 km について、5 年間で全区間の自動車騒音状況の面的評価を網羅できるよう年間 1～2 区間を調査しています。

令和 6 年度は、令和元年度と同地点である国道 307 号において大津信楽線（信楽町牧）から信楽町上野線（信楽町西）の区間で調査を実施しました。

環境基準を超過した区間はいずれも交通量が非常に多いこと、昼夜を通して大型車両の通行が多いことが原因と考えられます。

【自動車騒音測定結果（道路近傍騒音）】

路線名	地点	測定日	等価騒音レベル (dB)	
			昼間	夜間
県道草津伊賀線	甲南町新治	令和 2 年 12 月 15 日～16 日	68	59
国道 1 号	土山町北土山	令和 3 年 12 月 9 日～10 日	72	69
新名神高速道路	甲南町池田	令和 4 年 11 月 30 日～12 月 1 日	58	57
国道 1 号	水口町北脇	令和 4 年 11 月 30 日～12 月 1 日	68	64
国道 307 号	水口町元町	令和 5 年 12 月 6 日～7 日	69	62
国道 1 号	水口町名坂	令和 5 年 12 月 6 日～7 日	70	69
国道 307 号	信楽町勅旨	令和 6 年 12 月 10 日～11 日	71	65

環境基準 昼間 70 dB 以下・夜間 65 dB 以下

※維持されることが望ましい基準であり、行政上の政策目標。人の健康等を維持するための最低制限としてではなく、より積極的に維持されることが望ましい目標。（環境省資料抜粋）

要請限度 昼間 75 dB 以下・夜間 70 dB 以下

※限度を超えていることにより道路の周辺的生活環境が著しく損なわれると認めるときは、県公安委員会に対し、道路交通法の規定による措置を執るべきことを要請するもの。（騒音規制法第 17 条第 1 項抜粋）

等価騒音レベル

※自動車からの騒音のように時間的に大きく変動する騒音レベルを評価するために考案されたものであり、騒音レベルが時間とともに不規則かつ大幅に変化している場合に、時間内で変動する騒音レベルのエネルギーに着目して時間平均値を算出するもの。

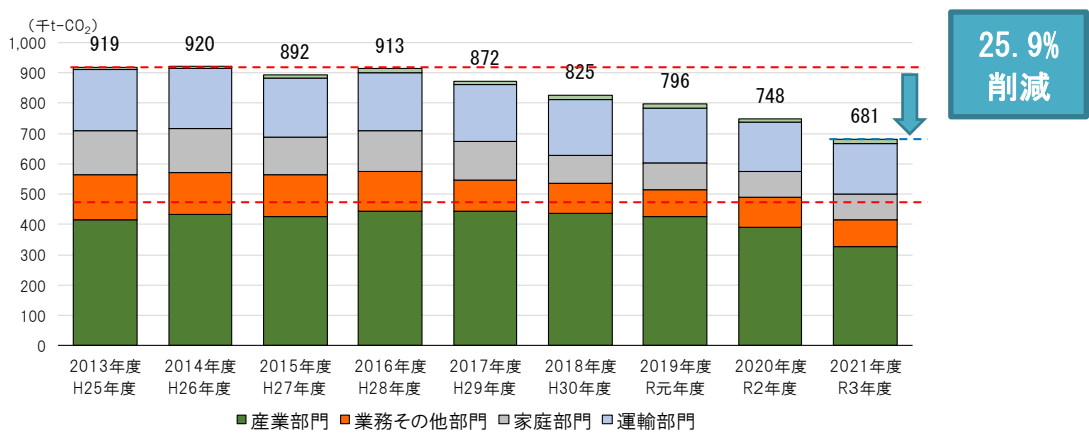
IV. 地球温暖化対策

甲賀市地球温暖化対策実行計画（令和6年3月策定）に基づき、2050年カーボンニュートラル、2030年度（令和12年度）に2013年度（平成25年度）比での温室効果ガス排出量削減目標を掲げ、取り組みを進めています。

1. 市域における温室効果ガス排出量の推移（区域施策編の削減目標：50%）

＜市域におけるCO2排出量の推移＞（単位：千t-CO2）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
産業部門	415	433	425	445	443	437	425	390	327
業務その他部門	150	138	138	129	104	97	88	99	90
家庭部門	146	146	126	135	126	92	88	84	84
運輸部門	202	197	195	191	189	186	183	165	166
廃棄物分野	6	5	8	12	10	12	11	10	14
合計	919	920	892	913	872	825	796	748	681
H25年比	-	100.1%	97.1%	99.4%	94.9%	89.9%	86.6%	81.4%	74.1%
前年比	-	100.1%	97.0%	102.4%	95.5%	94.7%	96.4%	94.0%	91.0%



■地球温暖化対策実行計画に基づく取組一覧

部門	指標	再エネ	省エネ	目標	削減量 千t-CO ₂	該当 戦略
産業	工場・倉庫における太陽光発電の導入※			ポテンシャルの50%	9.5	戦略1-1
	農地における太陽光発電の導入			ポテンシャルの8%	37.5	戦略1-1
	工場等におけるエネルギー消費量の削減			30%削減	127.5	戦略1-3
	旬の食材の利用促進			人口の70%	2.3	戦略2-2
						2-2
業務その他	公共施設(15箇所)における太陽光発電の導入※			15箇所	1.8	戦略1-1
	上記15箇所以外の公共施設における太陽光発電の導入※			ポテンシャルの50%	4.2	戦略1-1
	ZEBの導入			事業所の10%	8.8	戦略1-3
	事業所におけるエネルギー消費量の削減			30%削減	23.8	戦略1-3
						1-3
家庭	戸建住宅における太陽光発電			ポテンシャルの30%	14.0	戦略1-1
	共同住宅・長屋における太陽光発電の導入			ポテンシャルの30%	2.1	戦略1-1
	家庭における省エネルギー行動の推進			-	4.5	戦略1-3
	ZEHの導入(一戸建て)			一戸建ての15%	13.8	戦略1-3
	ZEHの導入(共同住宅・長屋)			共同住宅・長屋の15%	1.9	戦略1-3
	断熱リフォーム(一戸建て)			一戸建ての15%	0.6	戦略1-3
	断熱リフォーム(共同住宅・長屋)			共同住宅・長屋の15%	0.1	戦略1-3
	ヒートポンプ式給湯器の利用促進			30%増加	5.8	戦略1-3
						1-3
						1-3

部門	指標	再エネ	省エネ	目標	削減量 千t-CO ₂	該当 戦略
運輸	日時指定や置き配、宅配ボックス等の利用促進			人口の70%	0.4	戦略 1-3
	地産地消の促進			人口の70%	0.5	戦略 2-2
	次世代自動車の導入			新車登録台数 30%増加	0.9	戦略 4-2
	カーシェアリング			自家用車の5%	1.8	戦略 4-2
廃棄物	「生ごみたい肥化循環システム」に参加する世帯の増加			世帯の35%	0.1	戦略 4-1
	食品ロス削減			人口の70%	3.4	戦略 4-1
	マイボトルの利用促進			人口の70%	0.3	戦略 4-1
	フリーマーケットの利用促進			人口の70%	2.5	戦略 4-1
その他	薪ストーブや木質ペレットストーブの導入（間伐材・林地残材を活用した燃料チップの供給）			100台	0.1	戦略 1-1
	家畜の排せつ物、下水汚泥を活用したメタン発酵の実施			家畜排せつ物16% 下水汚泥100%	0.1	戦略 1-1
	小水力発電の導入			3箇所	0.3	戦略 1-1
	森林吸収			現在の吸収量を 維持	67.6	戦略 3-1
合 計（小数点以下四捨五入）					336	

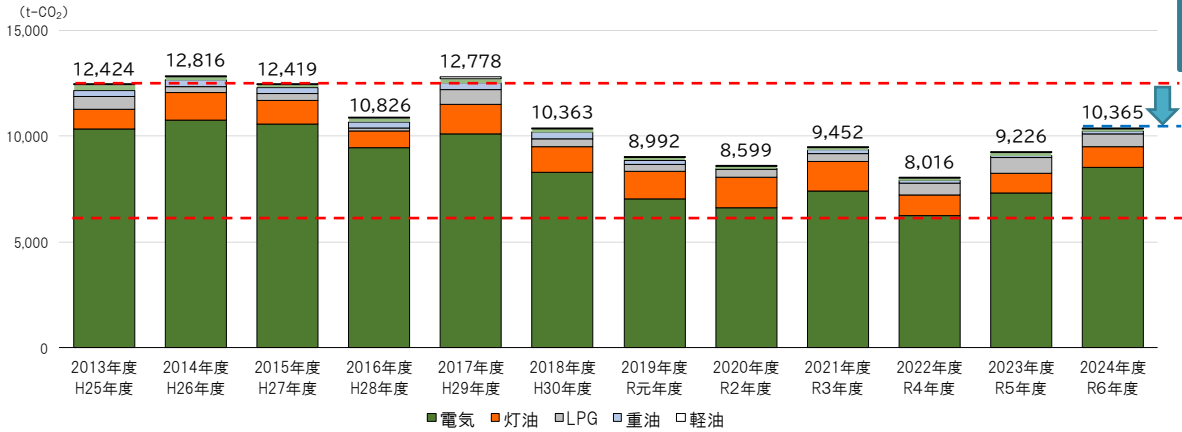
策定時の集計年度（令和元年度）から336 千 t-CO₂削減を目標

2. 市役所における温室効果ガス排出量の推移(事務事業編の削減目標:51%)

<エネルギー起源別CO2排出量の推移>

(単位:t-CO2)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
電気	10,314	10,729	10,577	9,455	10,075	8,279	7,038	6,622	7,396	6,235	7,293	8,515
灯油	949	1,308	1,124	769	1,401	1,215	1,314	1,450	1,388	966	933	998
LPG	581	302	289	141	726	373	287	344	363	578	732	602
重油	316	305	298	308	308	310	205	41	189	109	113	111
ガソリン	246	161	129	150	184	169	137	126	109	128	141	125
軽油	18	11	3	3	83	16	12	16	8	0.1	14	14
合計	12,424	12,816	12,419	10,826	12,778	10,363	8,992	8,599	9,452	8,016	9,226	10,365
H25年比	-	103.2%	100.0%	87.1%	102.9%	83.4%	72.4%	69.2%	76.1%	64.5%	74.3%	83.4%
前年比	-	103.2%	96.9%	87.2%	118.0%	81.1%	86.8%	95.6%	109.9%	84.8%	115.1%	112.3%



16.6%
削減

■事務事業編に関する主な取り組み(令和6年度)

①太陽光発電設備の設置

施設	設備容量
水口西部コミュニティセンター (みなくるプラザ)【写真】	28.7kW
水口保健センター	21.3kW
柏木コミュニティセンター	10.7kW
甲賀農村環境改善センター	9.8kW

②その他

照明のLED化、電気自動車の導入、空調設備の更新 など



V. 市民・事業者との協働

1. 県下一斉清掃

美しい環境に恵まれた住みよい郷土をつくるため、市民との協働により、毎年5月30日を基準日とする「ごみゼロ大作戦」、7月1日を基準日とする「びわ湖を美しくする運動」、12月1日を基準日とする「環境美化の日」の計3回、一斉清掃に取り組んでいます。

【県下一斉清掃で回収したごみの量】（令和6年度）

実施期間	実施場所	実施内容	参加人数	ごみ量 合計	ごみ等の種類			
					資源ごみ		ごみ	
					カン	ビン	可燃性	不燃性 その他
5月26日 ～ 6月9日	市内全域	ごみゼロ 大作戦	2,152人	23.4t	0.1t	0.03t	1.8t	21.4t
6月23日 ～ 7月7日	市内全域	びわ湖を 美しくする 運動	2,220人	15.3t	0.1t	0.03t	1.3t	13.9t
11月24日 ～ 12月8日	市内全域	環境美化の 日清掃運動	887人	15.4t	0.1t	0.04t	1.3t	14.0t
合計	—	—	5,259人	54.1t	0.3t	0.1t	4.4t	49.3t



2. まち美化活動

まちの美化意識の高揚を図る制度で、一定の公共的な場所（行政が管理する道路・公園等）において、団体（令和6年度末登録団体数103団体）に、ボランティアで美化保全（散在性ごみの収集や草引き・草刈り、植栽・剪定など）の活動をいただいています。

【まち美化活動参加団体】

（敬称略）

No.	まち美化参加団体	地域
1	ショット日本(株)	水口
2	ツジコー(株)	水口
3	クリーンクリーン甲賀（滋賀県甲賀環境事務所）	水口
4	水口エコライフの会	水口
5	高山区	水口
6	(株)水口テクノス	水口
7	水口婦人体操教室	水口
8	アヤハブラザ水口	水口
9	アコシクリーン倶楽部	水口
10	第9区老人クラブ	水口
11	八田美化活動グループ	水口
12	鶴昇建設(株)	水口
13	岩上産業(株)	水口
14	(有)田中土建	土山
15	(株)橋本土木工業	水口
16	(株)福本設備	水口
17	大西組	土山
18	廣瀬建設(有)	甲賀
19	(株)市原建機	水口
20	辻寅建設(株)	水口
21	(株)池本	水口
22	タナベ建設(株)	甲南
23	(株)きぶかわ	水口
24	(株)神田組	甲南
25	エス・ティ・メンテナンス(株)	甲賀
26	(有)新成建設	甲賀
27	(株)きくおか電気商会	信楽
28	神山建設(株)	信楽
29	(有)金本工業	水口
30	村木興業(株)	信楽
31	谷口興業(株)	甲南
32	(株)大山土木	土山
33	三和建設(株)	甲南
34	東宝建設(有)	甲南
35	A - p r o j e c t (株)	水口
36	上野町づくり委員会	甲賀
37	(株)フジサワ建設	水口
38	つどの会	信楽
39	奥村造園	土山・水口
40	ミドリ建設(株)	水口
41	近江道路土木(株)	信楽
42	倉田建設(株)	水口
43	(株)淡海建設	水口
44	(株)テックワークス	水口

No.	まち美化参加団体	地域
45	西村建設(株)甲賀支店	水口
46	(株)三東工業社	信楽
47	藤田産業(株)	甲南
48	三陽建設(株)	甲賀
49	西村造園土木(株)	水口
50	(株)倉田運輸機工	水口
51	(株)服部工業	信楽
52	大宝柁木(株)	土山・甲南
53	(有)田辺工務店	甲南
54	京都建物辻正(株)	甲賀
55	滋賀ゴルフ倶楽部	水口
56	NP0 法人 甲賀の環境・里山元気会	水口
57	鳥羽建設(株)	水口
58	(株)信楽住宅設備	信楽
59	吉田電工(株)	甲南
60	晶和電気工業(株)	水口
61	キョーリン製菓グループ工場(株)滋賀工場	水口
62	(株)片岡工務店	土山
63	(株)アルテハウス	水口
64	(株)昭建甲賀営業所	水口
65	(株)金岡建設	土山
66	双葉建設(株)	甲南
67	甲賀協同ガス(株)	水口
68	宇川中小企業団地自治会	水口
69	西本建設(株)	信楽
70	オリエントハウス(株)滋賀支店	信楽
71	インテリア三好工房	水口
72	ジェイドルフ製菓(株)土山工場	土山
73	滋賀技建(株)	水口
74	(株)金田工業	信楽
75	千歳工業(株)	甲南
76	水口センチュリーホテル(株)	水口
77	S G S B (株)	水口
78	(株)山久	水口
79	大和工業(株)	信楽
80	(株)イワキ	水口
81	(株)日立建機ティエラ	水口
82	平和発條(株)	甲南
83	エコラブリュミ拾い@こうか	市内
84	(有)林金属製作所清掃グループ	水口
85	神崎製缶(株)滋賀工場	水口
86	GRAND G-ONE 甲賀水口	水口
87	ナイテック工業(株)	水口
88	(株)ジーテクト滋賀工場	土山

No.	まち美化参加団体	地域
89	(株)ヒロセ第一工場リサイクルセンター	水口
90	藪下建設(株)	水口
91	大晶電気(株)	水口
92	信楽産業(株)	信楽
93	(株)黒田技研	土山
94	(株)松栄工業	信楽
95	(株)大地興業	水口
96	(株)近江リース	土山

No.	まち美化参加団体	地域
97	(株)清水コンテック	甲賀
98	Npo えりひらの会	甲南
99	(株)大一興業	水口
100	キャタレント滋賀(株)	水口
101	(株)植西設備工業商会	信楽
102	川本建設	土山
103	(株)優建設	水口

活動の様子



3. 環境保全協定の締結

環境保全協定は、事業者の方々の自主的な環境保全活動と生活環境の保全を市との協働により推進することを目的とするもので、環境事故の未然防止や発生時における対応に加え、環境保全行動を自ら行っていただくことを目指した内容として締結を進めています。

■基本事項

- ・ 環境保全意識を持ち、環境保全行動を率先して行うことを目指した紳士協定
- ・ 工場立地時等に企業と協議し、協定を締結

■基本項目

- ・ 公害の未然防止と環境保全の取り組み
- ・ 法令順守と環境保全施策への積極的な取り組み
- ・ 地球温暖化対策に関する取り組み など

■締結数（令和7年3月31日時点）

162社（令和6年度 新規：2社、見直し：2社）

VI. 自然環境

甲賀市は、鈴鹿山脈や信楽山地などの美しい山々を背景に、野洲川、杣川、大戸川が流れ、里山や緑豊かな田園が広がる自然環境に恵まれています。三重県にまたがる鈴鹿山脈には豊かな自然景観と特有の動物の生息があり、鈴鹿と信楽山地の間には古琵琶湖層群の地層がつくる丘陵地が広がり、水の張られた水田、除草されたあぜ、雑木林など、人々の暮らしと自然が調和した昔からの里山環境が残っており、希少な動植物が生息・生育しています。



オオタカ

里地

平地と山地の中間帯における里山環境に共生する動植物が生息・生育する
オオタカ、ミゾゴイなど

野洲川

下流

琵琶湖特有の水棲生物や礫河原に特有の植物が生息・生育する
ビワマス、カワラハハコ、カワラバタなど

上流

タカハヤ、アマゴ、カジカなど



カワラバタ



鈴鹿山脈

険しい山地特有の生物が生息・生育する
イヌワシ、ニホンカモシカ、ツキノワグマなど

信楽高地

高地性の樹木が生育する
コウヤミズキ、コウヤマキなど



ナゴヤダルマガエル

平地

水田環境に共生する生物が生息・生育する
チュウサギ、ナゴヤダルマガエルなど

丘陵地

近年全国で減少した草地環境・谷津田に特有な動植物が生息・生育する
カヤネズミ、ヤマトサンショウウオ、ササユリ、キキョウ、オミナエシなど



ニホンカモシカ

ため池

ため池に特有な動植物が生息・生育する
カワバタモロコ、ゲンゴロウ、コウホネ類など



カワバタモロコ

湧水湿地

湿地に特有な動植物が生息・生育する
サグスゲ、ヤチスギランなど



ヤマトサンショウウオ



カヤネズミ



カヤネズミの巣



ササユリ



キキョウ

1. レッドリスト

甲賀市では、平成19年度に最初のレッドリストを策定し、平成24年度、平成29年度、令和4年度と3回の改訂を行ってきました。甲賀市は森林など緑が豊富で、美しい河川が多く、都会と比較すると自然環境の量は維持されています。しかし、野生の動植物の種類や数の変化に着目すると、現在、生物多様性が急速に減少し、生態系の劣化が進んでいるなど、自然環境の質の変化が確認できます。

絶滅危惧種

分 類	R4	H29	備 考
植物	39 種	39 種	イワヒバ、セツブンソウ、カザグルマなど
哺乳類	7 種	5 種	ミズラモグラ、モモジロコウモリ、ユビナガコウモリなど
繁殖鳥類	9 種	9 種	ミゾゴイ、カッコウ、タマシギ、イヌワシ、ヤマセミなど
両生類	1 種	1 種	オオサンショウウオ
魚類	5 種	5 種	カワバタモロコ、アブラボテ、ギギ、イワナ、ビワマス
昆虫類	25 種	22 種	ベニイトトンボ、アオヤンマ、ナニワトンボなど
陸産貝類	3 種	3 種	アズキガイ、フトキセルガイモドキ、クチマ加里マイマイ

※爬虫類、淡水貝類、その他の陸産無脊椎動物については絶滅危惧種の指定なし。

絶滅危機増大種

分 類	R4	H29	備 考
植物	47 種	47 種	ヤチスギラン、サンショウモ、コウホネなど
哺乳類	3 種	3 種	キクガシラコウモリ、ムササビ、カヤネズミ
繁殖鳥類	17 種	16 種	ヤマドリ、ヒクイナ、サシバ、クマタカ、アオバズクなど
両生類	5 種	5 種	ヤマトサンショウウオ、ナゴヤダルマガエルなど
爬虫類	1 種	0 種	ニホンイシガメ
魚類	10 種	9 種	スナヤツメ、ナガレカマツカ、ズナガニゴイ、ムギツクなど
昆虫類	27 種	30 種	カトリヤンマ、カワラバッタ、ガムシ、ミズスマシなど
陸産貝類	2 種	2 種	ミヤマヒダリマキマイマイ、クチマガリスナガイ
淡水貝類	2 種	2 種	マツカサガイ、イシガイ
その他の陸産 無脊椎動物	3 種	3 種	ハッタミミズ、キノボリトタテグモ、ヒトエグモ

レッドリスト：絶滅のおそれがある野生生物のリスト

絶滅危惧種：現在生存している個体数が減少しており、野生での絶滅の危険性が高い種

絶滅危機増大種：生息、生育域が限定され、減少度合いが著しい種

2. 自然公園等

①鈴鹿国定公園（甲賀市・東近江市・日野町・多賀町、三重県）

鈴鹿山脈を中心とする伊勢湾側と琵琶湖側の水系を東西に分ける標高千 m 級の連峰で、渓谷等の豊かな自然景観や特別天然記念のニホンカモシカ・イヌワシなど特有の生物の生息・生育環境を保護する目的で、昭和 43 年（1968 年）に国定公園に指定されています。

②三上・田上・信楽県立自然公園

田上山地区、三上山・十二防地区、富川・大石地区、信楽地区、その他小規模な雪野山、平松、大池寺などの公園区域が、昭和 44 年（1969 年）に指定されています。

信楽地区は、大戸川の中流域から上流域にかけての山地丘陵地区で西側の田代エリア、東側の岩尾エリア、南側の笹ヶ岳エリアで構成され、信楽高原と称される地域の一面をなしています。特に、岩尾山から笹ヶ岳を結ぶ花崗岩の浸食の激しい山地・山岳景観やヒミメコマツとコマツガの特徴ある森林景観・生物資源にも優れています。



③東海自然歩道

東京と大阪を結ぶ東海自然歩道が甲賀市を通っています。ルートは「安楽越～鈴鹿峠～伊勢廻寺～明王寺～昭和池・大沢池～岩尾山～紫香楽宮跡～三筋の滝」です。

現在、それぞれの地域の 13 団体に委託し、清掃や管理を実施しています。

④みなくち子どもの森

子どもから大人まで甲賀の里山を楽しめる自然いっぱいの公園で、平成 13 年（2001 年）に設置しました。自然の楽しさや大切さを発見してもらうため甲賀の自然をテーマにした自然館（博物館）があります。令和 6 年 3 月に環境大臣から「自然共生サイト」に認定されました。

令和 6 年度実績

入館者数	自然館 9,937 人
団体利用	幼稚園・保育園 8 件 328 人 小学校 20 件 869 人 やまのこ事業（小学校） 29 校 1,064 人 ほか放課後等デイサービスなど
主催行事	54 回 783 人以上
木育事業	保育園 6 園、子育て支援センター 2 件



VII. その他

1. 情報提供

市民の皆様から様々な環境に関する情報提供をいただいています。事業場による悪臭や騒音、また野焼き等の苦情も寄せられていますが、特に近年では宅地における空地の管理状況（草木の繁茂等）に対する苦情が多く寄せられています。

【苦情受付数（生活環境課受付）（令和6年度）】 (件)

	騒音	振動	悪臭	水質	大気	粉塵	土壌	野焼き	空地	害虫	動物	その他	合計
水口	1	0	13	3	0	0	0	6	86	2	9	9	129
土山	2	0	4	0	0	2	0	3	3	1	0	4	19
甲賀	0	0	1	0	0	0	0	1	13	0	1	1	17
甲南	7	1	1	1	0	0	0	1	118	2	4	5	140
信楽	1	0	1	1	1	0	0	1	10	1	1	3	20
合計	11	1	20	5	1	2	0	12	230	6	15	22	325

{主な内容}

騒音：事業場・店舗からの騒音等

悪臭：生活排水（浄化槽処理水含む）による悪臭、農業用堆肥からの悪臭
事業者の製造過程や排水処理施設からの悪臭等

水質：工事・建設現場からの濁水流出等

粉塵：事業場からの粉塵

野焼き：ごみ・草の野焼き

空地：近隣の空地の管理（主に草・樹木の繁茂）

害虫：ハチの巣等

動物：犬の飼い方マナーに対する苦情や野良猫に関する苦情、犬猫の糞害苦情、野生動物への給餌等

その他：油漏れ事故等

2. 普及啓発

①未来につながるエコフェスタ2024の開催

「環境未来都市・甲賀」の実現に向けて、昨年度に引き続きエコフェスタを開催しました。今回は「みなくち子どもの森」が令和6年3月に環境大臣から自然共生サイトに認定されたことを受け、生物多様性をテーマにした講演の実施と、令和6年8月に設立された「滋賀県リサイクル推進協議会」や協賛・協力企業とともに、子どもから大人まで体験できるコーナーによる啓発等を行いました。

■日時 令和6年11月16日（土）
10時～16時

■場所 あいこうか市民ホールおよびその周辺

■内容 講演会と啓発ブース等

- ・講演会「地球を救うアカデミー～生物多様性ってなに？～」
WoWキツネザル氏（環境系エンターテイナー）
- ・滋賀県リサイクル推進協議会の展示、体験コーナー
- ・啓発パネル展示、生物多様性の写真の展示、「環境未来都市・甲賀」絵画コンクール入賞作品の展示、フードドライブ



②公共施設におけるウォーターサーバーの設置



「環境未来都市・甲賀」の実現に向けて、ペットボトル等の使い捨てプラスチック製品の使用を抑制し、プラスチックごみの削減を推進するため、令和6年7月30日に、ウォータースタンド株式会社様と連携協定を締結しました。

市役所等の公共施設8施設9箇所にウォーターサーバーを設置しました。（令和7年3月末時点）

関西広域連合のマイボトルスポットマップに登録しています。<https://my-bottle.jp/>



③「環境未来都市・甲賀」森のマイボトルの作成・配付

環境未来都市・甲賀ロゴマークをあしらったオリジナルマイボトルを作成しました。「みなくち子どもの森」の森林環境学習や環境整備時に発生したヒノキの間伐材を一部原料として使用しています。マイボトルを持ち運ぶことで地域脱炭素への取組の契機となるよう啓発します。このマイボトルは、イベントや環境活動に参加された市民の方に配付しています。



④「環境未来都市・甲賀応援」支援自動販売機の誕生



「環境未来都市・甲賀」の実現に向けて、支援自動販売機設置の提案いただいた株式会社日立建機ティエラ様、設置者であるコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社様と令和6年8月30日に協定を締結しました。

市内に本社と生産工場を構える株式会社日立建機ティエラ様の社内に支援自動販売機が複数設置され、売上の一部を市に寄附いただいています。

「環境未来都市・甲賀」の実現に向けた省エネ・再エネの推進や環境学習、みなくち子どもの森の保全等に活用させていただいています。

⑤断熱・遮熱リフォーム体験講座の実施

令和6年8月25日に甲賀市商工会青年部様と協働で甲南第一小学校において断熱・遮熱リフォーム体験講座を実施し、児童・保護者の皆様に断熱の重要性や効果を学んでいただきました。

リフォーム施工後、多くの児童から断熱の効果を実感できたというお知らせもたくさんいただき、環境教育にもつなげることができました。

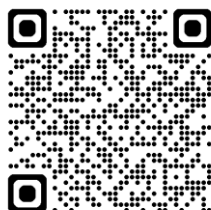


⑥ごみ分別アプリの配信

市民の方の利便性向上とリサイクルの推進を目的として、令和6年12月から「甲賀市ごみ分別アプリ」の配信を開始しました。

【主な機能】

- ・ごみの分別区分
- ・収集日カレンダー
- ・ごみの出し方
- ・アラート機能



⑦「環境未来都市・甲賀」絵画コンクールの実施

小学4年生から中学3年生までを対象に絵画コンクールを実施しました。入賞作品25点は、11月に開催した「未来につながるエコフェスタ2024」において、あいこうか市民ホールのロビーで展示しました。



市長賞
貴生川小学校4年生
大谷奏太さん



議長賞
水口東中学校1年生
坂上辰太郎さん



教育長賞
貴生川小学校5年生
小寺玲さん

⑧ロゴマークキャラクターの愛称決定



環境未来都市2050
KOKA CITY

■決定愛称

ニジッキー

■命名者

竹之内 葉月 さん（7歳／応募時）

■思いや意味

虹色の木だからニジッキー。

みんなが自然や環境について考えて、虹色の未来が訪れるように。

甲賀市の環境概要（令和6年度版）

甲賀市 市民環境部 環境未来都市推進室（0748-69-2144）
生活環境課（0748-69-2145）
〒528-8502 滋賀県甲賀市水口町水口 6053 番地

